はじめに

「最近心不全って言葉を耳にする機会が増えた気がする」
「心不全って難しい気がするし，どうやって勉強したらよいの？」
「薬剤師は心不全患者にどのようにかかわればよいの？」

こんな気持ちを抱いたことはありませんか？

心不全の新規発症患者は年々増加の一途を辿っており，「心不全パンデミック」と言われています．心不全療養支援は発症前のリスク管理から発症後の増悪予防まで多岐にわたりますが，薬剤師は患者さんが外来通院中・入院中・在宅療養中といかなる場面にいようとも，必ず療養に伴走できる存在だと言えます．

思い返せば2024年10月，循環器をこよなく愛する薬剤師が集って「薬剤師のための ここからはじめる循環器（愛称：ここはじ循環器）」（羊土社）を出版しました．

あれから2年，「ここはじ循環器」で一歩を踏み出した薬剤師が心不全という荒波に立ち向かうための参考書を作るべく，前回よりも多くの薬剤師が執筆にあたりました．本書では，心不全の進展ステージごとに薬剤師が果たすべき役割を示していくレイアウトとし，薬局薬剤師，病院薬剤師を問わずあなたが従事している環境において何をすればよいのかを明確にしました．姉妹書の「ここはじ循環器」と同様に，症例提示や「これだけは必ずチェック」「患者さんフォローの勘どころ」といった項目にも共通性をもたせています．「ここはじ循環器」を読んでから本書を手に取った方も，本書からはじめてここはじシリーズを知る方も，「わたしが心不全患者を支える一人になる！」と思っていただけることを願っています．

心不全パンデミックの行く末は，あなたの一歩に委ねられています．

2026年10月

芦川 直也，澤田 和久，鈴木 正論，西田 祥啓